

香港 米国産サクランボの余剰が価格を押し下げ

[FreshPlaza](#) 2025年7月23日

ワシントンと北京の貿易紛争によりサクランボの市場力学が変化し、特に香港での価格に影響が出ている。米国産サクランボは中国では58%の関税が課されるため、供給業者達は別個の関税地域を運営する香港に出荷先を振り替え、その結果価格が下落している。この供給過剰のため、油麻地果実卸売市場等の香港の果実業者はサクランボを1ポンド当たり約5.10ドルで販売している。(1ポンド=約0.45kg)

関税措置により、香港の米国からの4月のサクランボ輸入量は118%増加し、再輸出拠点としての役割に影響を与えた。中国本土への出荷額は、2月から4月の間に72%減少した。チョンビン果実社のある業務管理者は、昨年7月には5kg箱が51ドルだった米国産のサクランボが、現在は33~35ドルで販売されていると指摘した。これは最大35%の価格下落に相当する。

金果貿易社キンゴのある上級販売スペシャリストは、1日の市場販売量が昨年の8千箱から1万2千箱に急増したと指摘した。大成陳泰社タイシンチンタイのあるトレーダーは市況について、「空輸されたものは恐らくここ20年で最も安い」と述べた。販売量は前年比で3割以上増加した。

好天に支えられた米国での豊作は、この供給量の増加にさらに輪をかけている。シンゲイロン社のある販売員は、「昨年は在庫がこれほど多くなかった。今年は在庫が多いのでそれが安い理由である」と見ている。ベトナム等の他の市場でも、中国の関税による同様の価格低下の傾向が報告されている。

チョンビン果実社のアンドリュー・チャン氏は、価格の下落にもかかわらず、地元経済の低迷と厳しい競争により、粗利は改善していないと指摘した。販売戦略は引き続き「薄利と高い回転率」に焦点を当てている。

出典: myNews

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)

(関連記事) 香港 米国産サクランボの供給過剰で価格が約30%下落

[FreshPlaza](#) 2025年7月25日

香港ではアメリカ産サクランボの輸入が急増しており、価格が大幅に下落し、昨年より30%以上の安値となっている。中国本土への輸入が障害に直面する中、ワシントン州産のサクランボの多くが香港に振り向けられ、市場を圧倒していると国際果蔬グオジグオシュ(青果物情報サイト)が報じた。

油麻地果実卸売市場ヤウマティでは、サクランボは現在、例年より大幅に安い約5.10ドル/ポンドで販売されている。輸入業者らによると、市場は現在、空輸されたサクランボを毎日約1万2千箱扱っており、昨年の同じ時期の8千箱よりも多い。

供給が急増しているにもかかわらず、需要は依然として低迷している。5kg(11ポンド)箱は昨年7月には約51ドルで落札されたが、現在は33~35.70ドルで、約35%下落した。

米国から香港への果実輸入総額は4月に118%増加したが、2月から4月にかけて中国本土に再輸出された生鮮サクランボは金額ベースで72%減少した。

出典: Guojiguoshu